

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」に向けて

グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育む学校

個別最適化された学びの推進 キャリア教育の充実 学校行事の創意工夫

豊かな人間性

- ・学校行事や探究活動等を通して、教師や友人たちとのかわりの中で、自己理解、他者理解を深化させる
- ・キャリア教育等を通して、社会に出る前に適切な労働観・職業観を身につけられるようにする。
- ・学校行事を創意工夫することによって、自己有用感を高め、自己肯定感を育む

健康・体力

- ・健全な健康観を作り、生涯を通して自己や家族の健康を管理・改善しようとする態度を育成する
- ・保健体育の授業や学校行事に意欲的に取り組み、活動計画や運営に主体的に関わることができる力を養い、生涯にわたり体力増進に努めようとする態度を養う
- ・一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを生涯にわたって実践することができる資質・能力を養う（日本社会に根差したウェルビーイングの実現）

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- (1) 自他を尊重する心と、より良く生きるための自己指導能力を身につけることができる
- (2) 社会の一員として、持続可能な社会づくりに貢献できる
- (3) グローバルな課題に気がつき、問題意識を持つことができる

何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- (1) 自他を尊重する心と、より良く生きるための自己指導能力
- (2) 社会の一員として、より良い社会にするための課題を見つけ、解決しながら、持続可能な社会づくりに貢献できる力
- (3) グローバルな課題に気がつき、問題意識を持つことができる力

生徒の実態

- ・意欲的であるが、基礎学力が定着しておらず、主体的に取り組んでいる生徒が少ない
- ・進路に対する意識が低い生徒が多い
- ・自己肯定感が低く、自分の考えを表現することに消極的な生徒が多い

生徒の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導

- ・教育相談体制を整え、学校、保護者、SC、SSW等と連携を図り支援する。
- ・必要に応じて、生徒の特性を踏まえた個別的教育支援計画を作成するとともに、教職員間で共有を図り、学校全体で支援する。
- ・ライフスキル教育を通して、生きていく上で必要なスキルを認識し、日常の様々な問題や課題に対処するための技術を指導する。

目指す生徒の姿

- ・自他を尊重しながら、より良く生きるための自己指導能力がある生徒
- ・社会の一員として、持続可能な社会づくりに貢献できる生徒
- ・グローバルな課題に気がつき、問題意識を持つことができる生徒

何を学ぶか ○教育課程の編成

- (1) 自己理解、他者理解を深化させる学びの環境を整備
- (2) 自己有用感や達成感、協調の意義を感じる学びの環境を整備
- (3) 社会生活に必要な知識・技能を学び直す教育課程の編成
- (4) 思考力・判断力・表現力を磨く教育課程の編成

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- (1) 教師や友人との協働をとおした体験的な学びの実践
- (2) ふりかえりシートを活用した学校行事の創意工夫
- (3) キャリアパスポートを活用したキャリア教育の推進
- (4) ICTを効果的に活用した個別最適化された学びの実践

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・教職員・保護者が情報を共有したチームとしての生徒支援
- ・教職員・保護者が学校教育目標、教育活動（教科学習・行事等）の関連を意識した生徒支援
- ・教職員による教育活動実施に必要な知識・技能の修得及び実践力の向上
- ・地域の方々・専門的知識をもった組織・人材による協力、指導助言

安心・安全を守る

- ・PTA、教育振興会との協力、連携
- ・常陸太田警察署等との協力、連携の構築
- ・常陸太田市役所等との協力、連携体制の構築

開かれた学校作り

- ・保護者、地域、学校評議員、同窓会等への情報発信と協力
- ・保護者、地域からのアンケートによる客観的評価と反映
- ・外部専門家と連携して探究活動等の質的向上